保証とアフターサービス 必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** （ただし、紙パックは除く）詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 部品共通化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）　－

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと運転が止まるときがある。
- 紙パックを交換しても、保護装置がすぐにはたらいて止まる。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用中止 ▶ 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

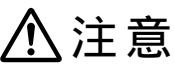
東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-PW9D

もくじ

- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

安全上のご注意

必ずお守りください

● 商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠ 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
⚠ 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

分解禁止

絶対に改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁 止

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

100V・15A以上

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

紙パック交換時やお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

禁 止

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

水場での使用禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。

禁 止

電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけない（無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、たばねない、加工しない、重い物をのせない、挟み込まない）
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

接触禁止

床ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない
手など、けが・やけどの原因になります。
特に小さなお子さまにご注意ください。

禁 止

電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、火災・感電の原因になります。

水洗い禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電・発熱による火災の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグとコンセントのほこりなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布で拭きとる
感電・発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁 止

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁 止

排気口をふさがない
火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない
本体や電源コード等の変形によるショート・発火の原因になります。

まっすぐに引く

電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。

禁 止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁 止

本体のホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンや金属類を入れない
感電・破壊の原因になります。

お願い

このクリーナーは家庭用です

- 業務用には使用しない。
- 掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない

■ **水などの液体や湿ったゴミ。**
■ ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■ 多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
■ 食品用ラップや包装用フイルムなどの通気性の悪いもの。
● **異臭の発生や本体故障、紙パックの集じん性能を低下させる原因になります。**

紙パックは必ずシール弁付東芝製［純正］紙パックを使用する

- クリーナーの紙パックは機能部品です。東芝製［純正］以外の紙パックを使用した場合、モーターの発煙・発火が発生するおそれがあります。東芝製［純正］以外の紙パックを使用した場合の紙パックに関係するクリーナーの**性能・品質などの不良は保証できません。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない

- 床が傷ついたり、故障の原因になります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す

- 電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

破れたり、傷ついたホースを使わない

- 感電の原因になります。

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシを床に強く押しつけたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない

- 床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、**力を入れずに片手で軽くすべらせてください。**伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
- 杉や檜などのやわらかく傷つきやすい木床や、床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、床にこすり傷が発生することがあります。傷が気になる場合は本体のハンドルを持って掃除することをお奨めします。
  また、床ブラシは別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
- 砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布に付着している砂ゴミは取りのぞいてください。
- 床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがあります。お手入れの都度、点検してください。

各部のなまえとはたらき

標準付属品

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ付（1個）
（パワーヘッド）

ホース（1本）

伸縮延長管（1本）

応用付属品

すき間ノズル（1個）

8ページを参照して取り付けてください。

別売品用アタッチメント（1個）

●別売品をご使用の際に伸縮延長管またはホースに差し込んでお使いください。

別売品

フリーアングルブラシ付3段伸縮すき間ノズル
VJ-N2

丸ブラシ（馬毛製）
VJ-M2U

ソフトフロアブラシ
VJ-F110

ふとん用ブラシ
VJ-B4

●別売品はお近くの東芝商品販売店でお買い求めできます。

パワー持続機構

このクリーナーには、吸気室内の空気圧力変化を利用した、パワー持続機構を採用しています。
運転を停止させるたびに、紙パックの上側にあるちり落とし板が紙パックをたたき、内側に付着した細かいほこりを落として、パワーを持続させます。

手元スイッチON
ちり落とし板が上方へ動きます。

紙パックが徐々に目づまりしてきます。

手元スイッチOFF
ちり落とし板が下方へ動きます。

紙パックをパシッとたたき、ちりを落とします。

手元スイッチON
ちり落とし板が上方へ動きます。

パワーが持続します。

- ちり落とし板は、スイッチを切ってしばらくしてから作動します。
- ちり落とし板は、床ブラシかすき間ノズルを取り付けないと作動しません。
- 運転開始時と停止時にちり落とし板の作動音がしますが、異常ではありません。
- 「弱」の状態や紙パックにゴミがたまっていないときは、ちり落とし板が作動しないことがあります。
- 綿ゴミや紙ゴミなどが多い場合は、ちり落とし効果が出にくいことがあります。

ゴミサインの見かた

紙パック交換時期の目安をお知らせします。ゴミのたまり具合による風の通りにくさをセンサーで検知し、ゴミサインが点灯・点滅します。

1 床ブラシを取り付け、手元スイッチの 強 を押す

2 床ブラシを床より浮かせた状態で確認をする

消灯　あまりゴミがたまっていません。

ゴミがたまってきたか、紙パックが目づまりしてきました。新しい紙パックを用意しましょう。

ゴミがいっぱいか、紙パックが目づまりしています。（吸込力が弱くなります）紙パックを交換してください。

- 綿ゴミなど風を通しやすいゴミは、紙パックがいっぱいになっても点滅しないことがあります。
- 紙パックが目づまりしやすい砂ゴミ、土ぼこりなどの粉ゴミや誤って吸い込んだ湿ったゴミは、紙パックがいっぱいにならないうちに目づまりし点滅することがあります。
- 一度に多くの家電製品をお使いになるなどして、電源電圧が低いときは、点灯のしかたが変わることがありますが故障ではありません。
- ゴミサインが点滅しない場合、ホース先端を約10秒間密閉し、ゴミサインが点滅すれば正常です。
- シール弁付東芝製以外の紙パックを使用した場合、ゴミサインが正常に作動しないことがあります。

紙パックの目づまりとは
このクリーナーは空気と一緒にゴミ・ほこりを吸い込みます。紙パックの微細な通気孔が細かい粉ぼこりによってふさがれ、通気性が悪くなった状態になると目づまりを起こし吸込力が弱くなります。

お掃除のしかた

1 **電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む**
LEDランプが点灯します。

2 **手元スイッチを押す**

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき
●床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
●ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

(ブラシ入/切)を押すごとに「入↔切」が切り替わります。

自動

「自動」でお掃除するとき
●ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

手動

強/弱 を1回押す

「強」でお掃除するとき
●じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに使用します。

(強/弱)を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。

強/弱 を2回押す

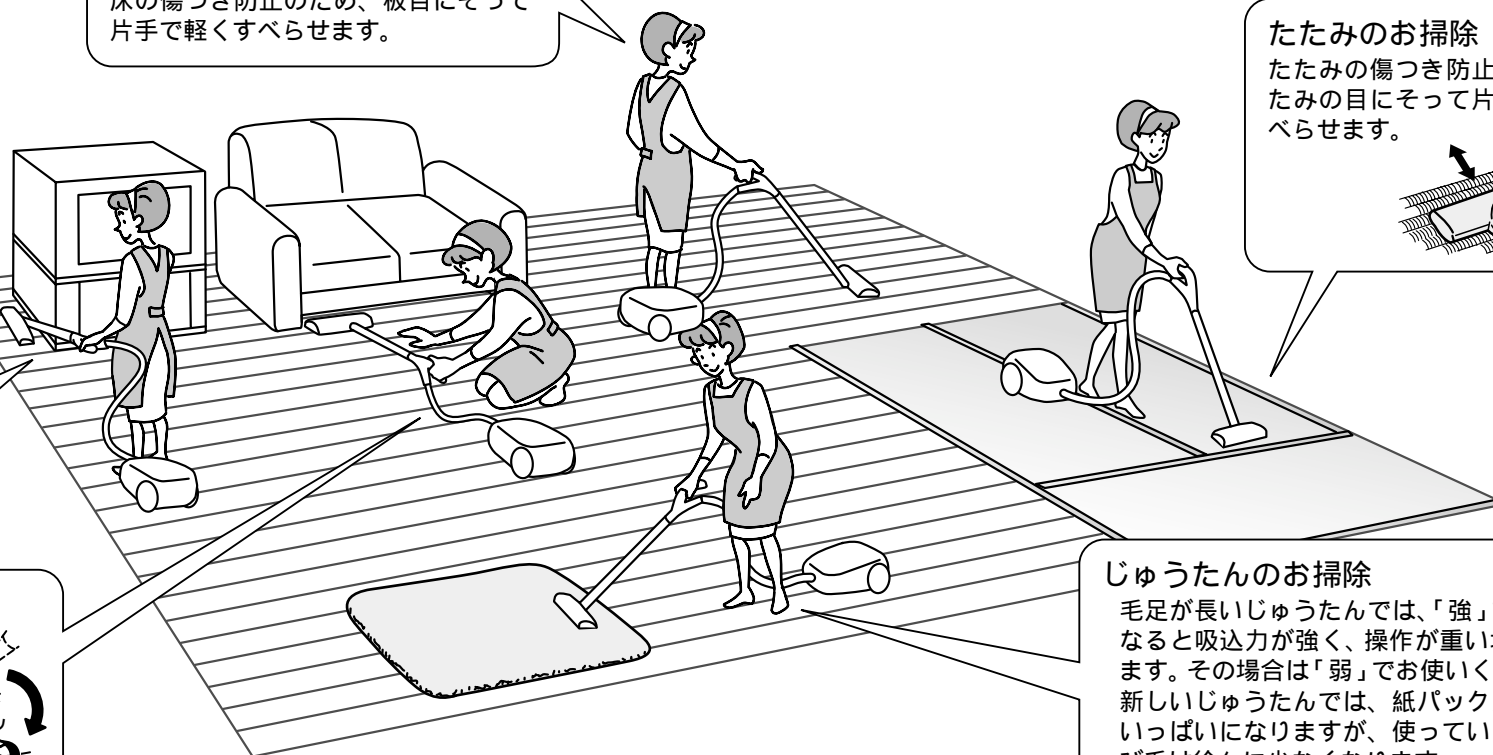
「弱」でお掃除するとき
●カーテンなど吸いついて操作がしにくいときのお掃除に使用します。
●すき間ノズルを使ったお掃除に使用します。

運転を止めるとき
※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

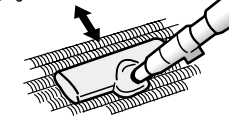
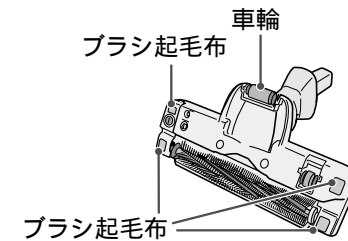
お知らせ
●大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い
●大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると、**モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります。**このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。
●狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。
また、床ブラシを家具や壁にぶつけたり、手元部を下方に無理に押しつけないでください。床ブラシが破損することがあります。
●表面が固く、凹凸したコンクリート床などで使用しないでください。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると、床・たたみに傷をつけることがあります。

お掃除のコツ

床のお掃除
床の傷つき防止のため、**板目にそって**片手で軽くすべらせます。

たたみのお掃除
たたみの傷つき防止のため、**たたみの目にそって**片手で軽くすべらせます。

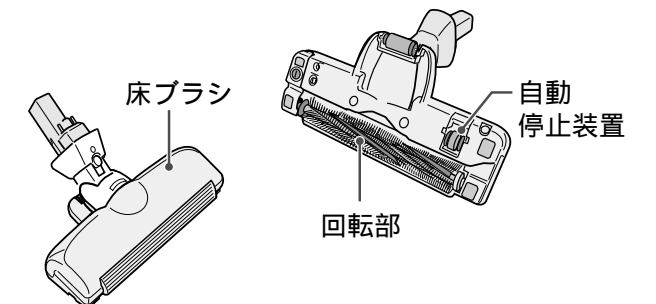
狭いところのお掃除
手元をひねり床ブラシの向きを変えると、狭いところのお掃除ができます。
クルッ

低いところのお掃除
●手元を下げると低いところのお掃除ができます。
●手元をひねるとより奥までお掃除できます。
クルッ

じゅうたんのお掃除
●毛足が長いじゅうたんでは、「強」でお使いになると吸込力が強く、操作が重い場合があります。**その場合は「弱」でお使いください。**
●新しいじゅうたんでは、紙パックが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

付属品の使いかた

⚠警告	**床ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない** 手など、けが・やけどの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。

床ブラシの回転部について

この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと安全のため回転部が止まります。

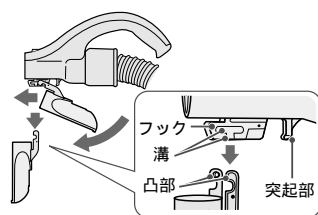
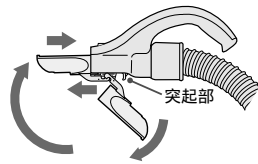
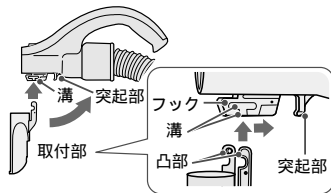
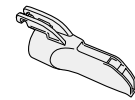
●床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
●床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
●ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、(切)を押し、運転を止め再び(強/弱)を押してお使いください。

付属品の使いかた（つづき）

すき間ノズルの使いかた

通常は、㊜を2回押し、「弱」で使う。

- 強い吸込力でお掃除するときは、㊜を1回押し、「強」でお使いください。

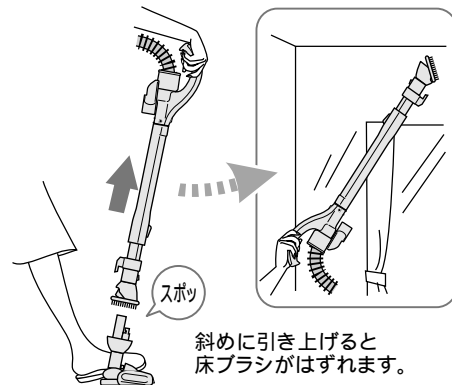
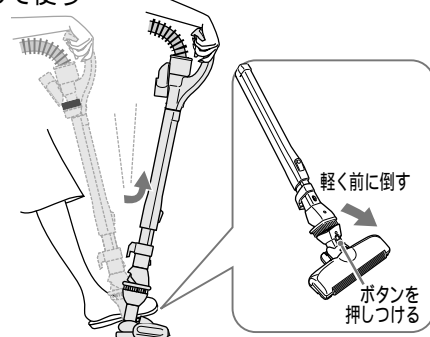
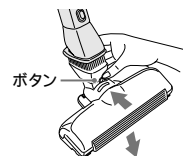
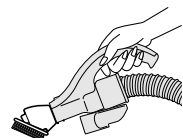
すき間ノズルのセットと収納

取り付けるとき	ホースにセットするとき	取りはずすとき
①すき間ノズルの取付部の凸部をフックの溝に合わせてはめる ②すき間ノズルを後ろ側にスライドさせる ③すき間ノズルを90°回転させて突起部にはめ込む	①すき間ノズルの先端を突起部からはずす ②すき間ノズルをフックに引っかけたまま、前側にスライドさせる ③すき間ノズルを180°回転させホースの先端にしっかり差し込む	①すき間ノズルの先端を突起部からはずす ②すき間ノズルを動かし、フックの溝にすき間ノズルの取付部の凸部を合わせる ③すき間ノズルをはずす

- すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。
- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。
- すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。
- 「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。

お願い

- **床などに使わないでください。傷をつけることがあります。**
- 20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
- **すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。**

ワンタッチどこでもブラシの使いかた

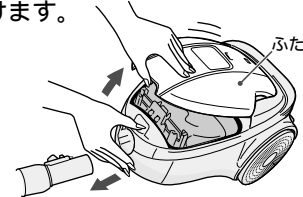
①（切）を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえる
②伸縮延長管を前に倒しながら、グリップを上に引き上げてはずす
③手元スイッチを押して使う

- **床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。**

- **ワンタッチどこでもブラシは、ホース先端に差し込んでも使えます。**

お願い

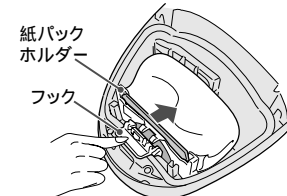
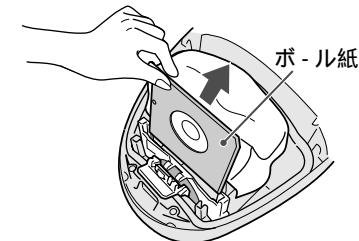
- 運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
- 無理に伸縮延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。

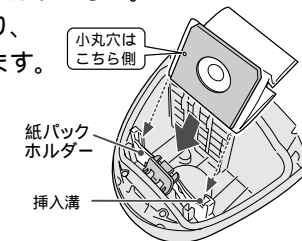
紙パックの交換

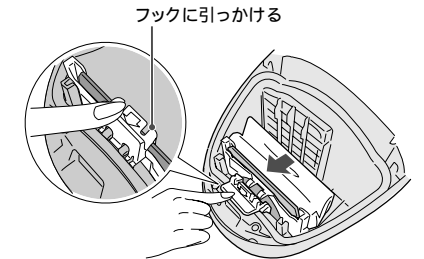
定期的に（月に1回程度）紙パックを点検し、ゴミがいっぱいになっていたり、吸込力が弱いと感じられたときは交換してください。

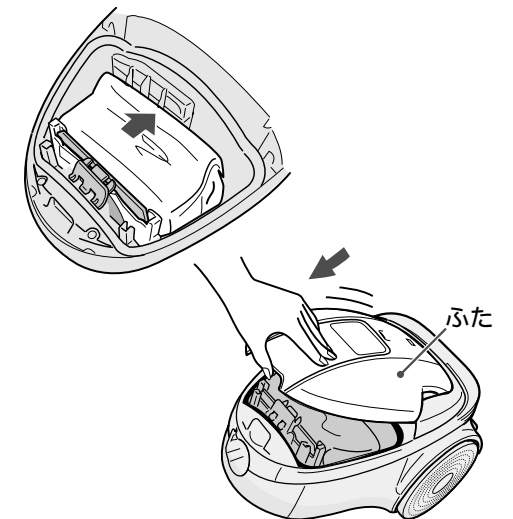
1 ホースをはずし、ふたを開ける

- 本体を押さえながらふたを開けます。

2 フックを引き、紙パックのボール紙を引き出し、捨てる

①フックを引いて紙パックホルダを移動させる。

②紙パックのボール紙を引き出し、捨てる。

3 新しい紙パックのボール紙を、紙パックホルダーの挿入溝に確実に差し込む

- ボール紙を折ったり曲げたりしない。ふたが閉まらなかったり、ゴミもれの原因となります。

4 ボール紙の上部を前方に押しつけてしっかりフックに引っかける

- フックに無理な力を加えない。はずれることがあります。

5 紙パックを本体内部全体に広げ、ふたを閉める

- 紙パックの入れ忘れや、正しくセットされていないときはふたが閉まりません。

お願い

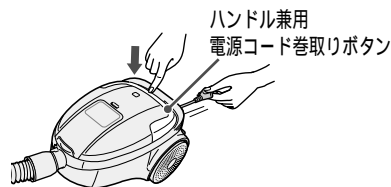
- 紙パックのくり返しのご使用はおやめください。紙パックが破損して故障の原因になります。

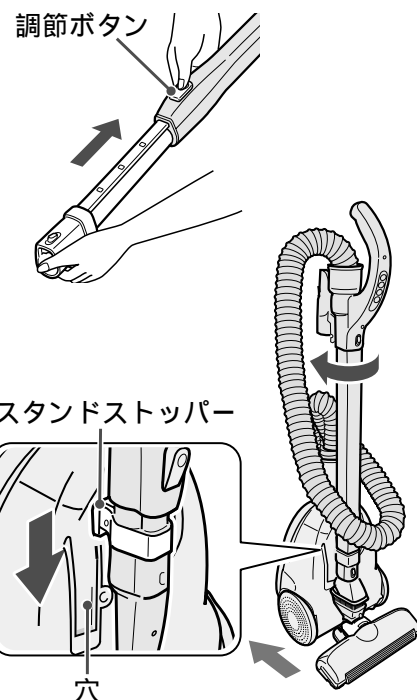
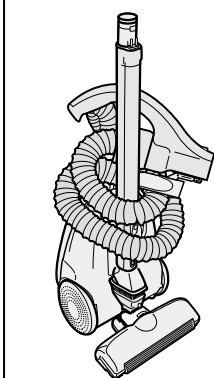
紙パックについて（必ず東芝製 純正 紙パックをご使用ください）

- お買い上げの販売店またはお近くの東芝クリーナー取扱店でお買い求めください。
- **このクリーナーでは性能を維持するため、高性能トリプルパックフィルター（VPF-7）をご使用になることをおすすめします。**シール弁付東芝製 純正 トリプル紙パック（VPF-5）またはダブル紙パック（VPF-6）もご使用になれますが、ゴミの種類によっては、紙パックの交換時期が早くなります。
- クリーナーの紙パックは本体性能を維持するための大切な機能部品です。指定以外の純正表示のない紙パックを使用したときは、本体内で紙パックがふくらまずゴミをためられなかったり、紙パックからゴミがもれ、モーターの発煙・発火が発生するおそれがあり、クリーナーの性能・品質は保証できません。

お掃除終了後は

お掃除終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

①電源プラグを持ち、ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る
②巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出して再び巻き取る

スタンド収納

①調節ボタンを押しながら、伸縮延長管を縮める
②伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
③床ブラシをすべらせながら本体側に引く
④スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ホースの握り部をはずすとより低くなります。

お知らせ
- スタンドストッパーがはずれることがありますので、収納状態で持ち運ばないでください。
- 標準付属品の床ブラシを取り付けて、収納してください。標準付属品以外の床ブラシ（別売品など）を取り付けて収納状態にすると、スタンドストッパーがはずれることがあります。

お手入れ

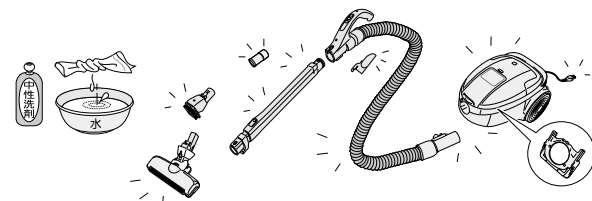
お手入れの際には ㊊ を押して運転を止め電源プラグを抜いてください。

⚠警告

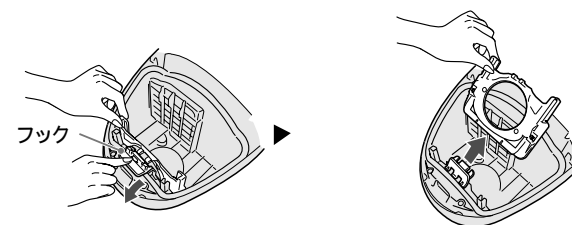
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

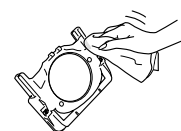
本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

- ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。

紙パックホルダー

1 紙パックホルダーをはずす

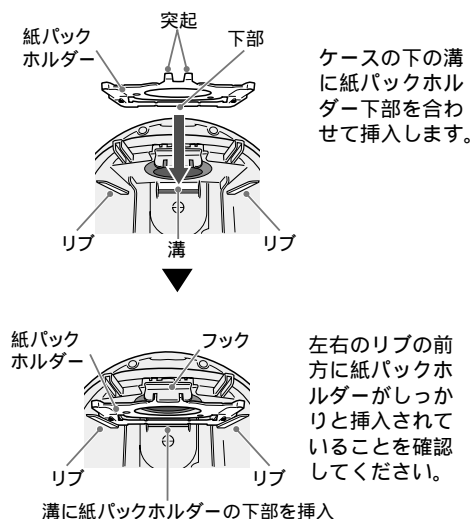
フックを引きながら、紙パックホルダーをはずす

2 紙パックホルダーのお手入れをする

- やわらかい布などでふいてください。

3 紙パックホルダーを取り付ける

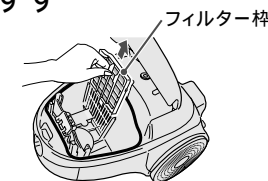
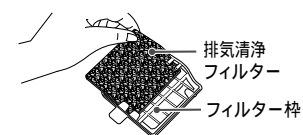
①フックを引きながらケースの下の溝に、紙パックホルダーの下部を入れる
②フックに紙パックホルダーの突起をひっかける

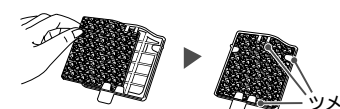
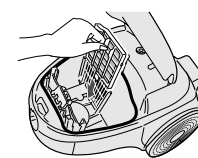
ケースの下の溝に紙パックホルダー下部を合わせて挿入します。

溝に紙パックホルダーの下部を挿入

左右のリブの前方に紙パックホルダーがしっかりと挿入されていることを確認してください。

排気清浄フィルター

紙パックを交換しても、すぐにゴミサインが点滅するときは、お手入れをしてください。

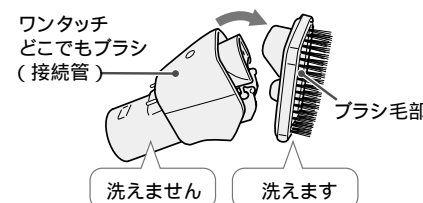
1 フィルター枠をはずす

2 フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす

3 押し洗いをし、陰干しして十分に乾燥させる

4 排気清浄フィルターをフィルター枠にはめる

5 フィルター枠を本体にはめ込む

お願い
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

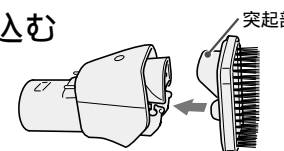
お知らせ
- 新しい排気清浄フィルターは、お買い上げの販売店を通じて、取りよせることができます。（有料）

ワンタッチどこでもブラシ

ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部を前方へ軽くひねりながらはずす

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 ブラシ毛部の突起部がある方を上にして、接続管にかけてカチッと音がするまではめ込む

突起部

お願い
- 接続管は、水洗いしないでください。

お掃除の後に

（つづく）

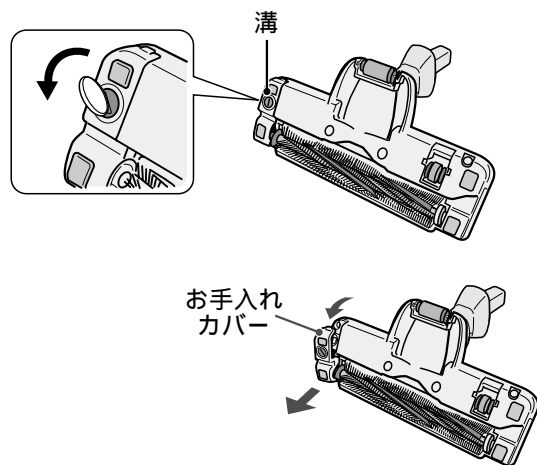
お手入れ（つづき）

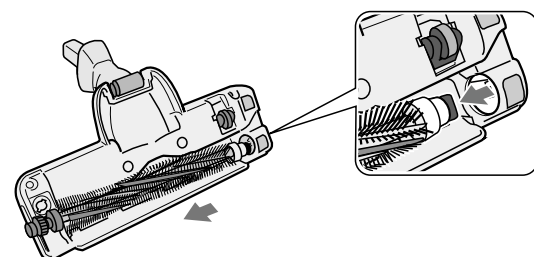
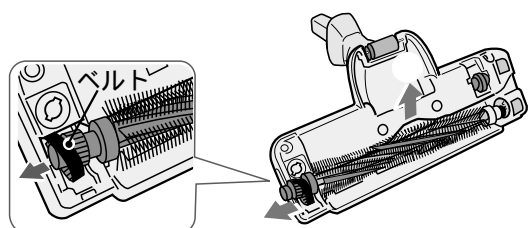
⚠警告 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

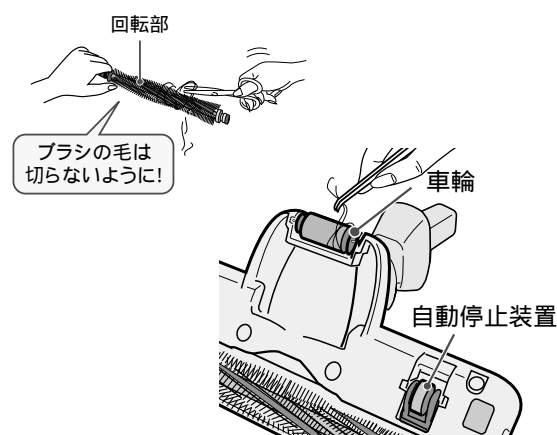
床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

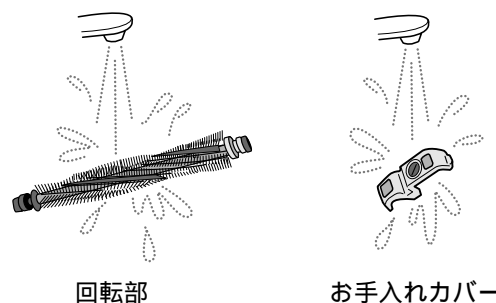
①溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
②お手入れカバーの後ろ側を持ち上げる
③前方向に引き抜く

2 回転部をはずす

①回転部を持ち上げる
②ベルトを取りはずす
③矢印の方向に抜く

3 ゴミを取りのぞく

①回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り、取りのぞく
②自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミは、ピンセットで取りのぞく

● ゴミがたまったままお使いになると、車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

お願い

● 床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、ゴミサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取りのぞいてください。

4 回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる。

5 十分な乾燥を確認して、回転部を取り付ける

①回転部を穴に差し込む

● 回転部には方向性がありますので、逆向きには差し込めません。

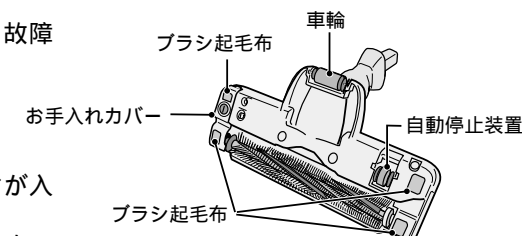
②ギアにベルトをかける
③回転部を取り付ける

6 お手入れカバーを取り付ける

①お手入れカバーの凹部をつめにかける
②お手入れカバーの凸部を穴に入れる
③溝にコインを入れ、「しまる」の位置に合わせる

● お手入れカバーは、必ず取り付けてご使用ください。
● お手入れカバーに無理な力を加えないでください。

お願い

● 回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。
● 回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。
● 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
● 毛のかたいブラシで洗わないでください。
● 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。
● 回転部のギヤは確実にベルトに取り付けてください。ギヤが入っていないと回転部は回りません。
● 床ブラシ下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがありますので、お手入れの際に点検してください。摩耗しているときは、販売店にご相談ください。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体・床ブラシ内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき

- 紙パックがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
  砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミや通気性の悪いゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、紙パックがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
- すき間ノズルで連続運転使用したとき
- 夏期など室温が35℃を超えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき
- ゴミサインが点滅したまま使用したとき
- シール弁付東芝製 純正 紙パック以外を使用したとき

直しかた

①手元スイッチの 切 を押し、電源プラグをコンセントから抜く

②ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく

③涼しい場所におく

約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

このようなとき

- 回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき
- 回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき

直しかた

手元スイッチの 切 を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。

12ページ

約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛
アレルゲットフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に付着	不織布
ゼオライトフィルター	（財）日本食品分析センター	JIS L 1902	繊維上で化学結合（アルミノケイ酸+銅）	不織布
光触媒フィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	不織布
高性能トリプルパックフィルター(VPF-7)	（財）日本食品分析センター	JIS L 1902	繊維上で化学結合（アルミノケイ酸+銅）	パックフィルター内装紙

仕 様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W ～約250W	310 mm	250 mm	200 mm	4.8kg （ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	560W～約90W	62dB ～約53dB	1.5L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率560W、運転音62dB
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
  海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

このようなときは

⚠警告

絶対に改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

- ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●ホースが本体に差し込まれていますか。 ●紙パックがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 ●床ブラシにゴミが吸いついていませんか。 ●シール弁付東芝製 純正 紙パック以外を使っていませんか。	→しっかり差し込んでください。 →本体の保護装置がはたらいています。 →本体の保護装置がはたらいています。 →本体の保護装置がはたらいています。	4 14 14 14
モーターの回転が変動する	●ゴミサインが点滅したままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらきます。 ●シール弁付東芝製 純正 紙パック以外を使っていませんか。	→マイコンによる制御で異常ではありません。 →シール弁付東芝製 純正 紙パックをお使いください。	5,7 9
吸込力が弱い	●ゴミサインが点滅していませんか。 ●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。 ●排気清浄フィルターの汚れがひどくありませんか。 ●シール弁付東芝製 純正 紙パック以外を使っていませんか。	→紙パックを交換してください。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。 →お手入れしてください。 →シール弁付東芝製 純正 紙パックをお使いください。	5,9 4 11 9
床ブラシの回転部が回転しない	●安全のための自動停止装置がはたらいていませんか。 ●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ●自動停止装置にゴミがからんでいませんか。	→床ブラシをいったん持ち上げてゆっくりおろしてください。 →取りのぞいてください。 →取りのぞいてください。	7 12 12
電源コードが巻き取れない 引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 ●電源コードがからんでいませんか。	→1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。 →ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回くり返してください。	10 10

それでも異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
- ご使用中、本体及び電源コード、排気風が熱く感じられてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
- ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません
- ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。